

東京外国為替市場委員会 第 203 回会合 議事録

開催日時	2017年7月26日	13:00~14:15
場 所	日本銀行本店	
議 長	星野 昭	
副 議 長	大西 知生	
副 議 長	青山 宏明	
書 記	重本 浩志	
出席者	22名	

I. 準委員交代について

星野議長より、川原準委員が退任し、本田氏が後任となる旨が報告されました。

II. グローバル外為行動規範の本邦市場参加者への展開

星野議長より、グローバル外為行動規範について、全銀協（主として地域銀行が対象、7/28日）のほか、バイサイド投資家向けに各業界団体の会員を対象とした説明会を順次実施していく旨、報告がありました。また、既に実施した説明会の模様について、大西副議長および青山副議長から報告がありました。

III. フォレックスセミナー開催について

石川委員より、8/28日に東京外国為替市場委員会と日本フォレックスクラブの共催にて、フォレックスセミナーを開催する旨、報告がありました。

IV. ファンド為替 PVP 化プロジェクトの進捗

山内運営小委員長より、6/29日に開催された「外為決済リスクに係るラウンドテーブル」における議論の状況のほか、個別論点について為替銀行の意見を集約するために議論の場を設ける必要があることや、今後の作業方針等について報告があり、続いて、CLS 決済の対象範囲といった論点について意見交換が行われました。

V. JPNU の位置づけについて

廣田委員より、トムソン・ロイター社の JPNU ページのレート決定方法の変更に伴い、当委員会の「対円 NDF に係る推奨慣行」について、「推奨の中止も含めて検討中」である旨、ホームページで明らかにするとの提案が行われ、了承されました。

VI. 外国為替取引高サーベイの結果

本田準委員より、同日公表の外国為替取引高サーベイ（2017/4 月調査分）の結果について報告がありました。

VII. BCP ウェブ更改について

小柳準委員より、現在利用している外為 BCP ウェブサイトについて、現契約先のサービスが終了となるため、代替として選択肢となり得るサービスについて紹介があり、今後更改作業を進めていくことになりました。続いて、星野議長より、外為市場の BCP について、アップデートを検討していく旨、説明がありました。

VIII. その他

本委員会とは別セッションとして、アンダーソン・毛利・友常法律事務所の河合弁護士から、仮想通貨の現況についてプレゼンテーションがありました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (7月26日現在)

<委員>

議長・BCP小委員長	○星野 昭	(三菱東京UFJ銀行)
副議長・CoC小委員長	○大西 知生	(ドイツ証券)
副議長・市場調査小委員長	○青山 宏明	(みずほ銀行)
書記	○重本 浩志	(日本銀行)
運営小委員長	○山内 太朗	(三菱UFJ信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS ディーリング・リソースジャパン)
法律問題小委員長	○松本 洋志	(三井住友信託銀行)
Eコマース小委員長	○大澤 孝元	(パークレイズ銀行)
教育小委員長	高山 典大	(野村証券)
バイサイド小委員長	○呉田 真二	(三井住友銀行)
	○廣田 泰司	(JP モルガン・チェース銀行)
	○石川 昌信	(トクヨウフレックス上田ハロー)
	○宗川 雄視	(トムソン・ロイター・マーケット)
	○宮崎 誠	(CLS)
	好川 弘一	
	○岩崎 拓也	(バンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイ)
	○時田 剛	(BNP パリバ銀行)
	○狩野 弘一	(シティグループ証券)
	○光定 建治	(ゴールドマン・サックス証券)

<準委員>

	○伊藤 祐介	(マネー・フローカース・アソシエーション)
	○小柳 徳明	(三菱東京UFJ銀行)
	鈴木 智美	(ドイツ証券)
	○藤平 武文	(みずほ銀行)
	山本 浩司	(三井住友銀行)
	○本田 大和	(日本銀行)

<オブザーバー>

	○原田 浩気	(財務省)
--	--------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。